

## 会 社 の 沿 革

- 1910年（明治43年） 創業者 栗飯原信之助が千葉市吾妻町（現：千葉市中央区中央）において  
壘（ギヤマン及びガラスビン）、非鉄金属屑、鉄くず、樽、かめ等の  
回収業として中屋商店を創立。
- 1930年（昭和5年） 業務拡張に伴い、千葉市長洲町に移転。
- 1949年（昭和24年） 栗飯原益次郎が中屋商店を継承。
- 1964年（昭和39年） 業務拡張のため千葉市桜木町に移転。
- 1974年（昭和49年） 東洋ガラス株式会社と業務提携し、カレット（ガラスビン）リサイクル  
システム確立のため、茂原市、館山市、鴨川市等の自治体の指導を仰ぎ、  
今日のリサイクルシステムの基盤整備を行う。
- 1979年（昭和54年） 東金市外三町清掃組合より、ビン・缶の回収処理を受託する。
- 同 年 有限会社 中屋総業を設立。栗飯原益次郎が代表取締役就任。
- 1984年（昭和59年） 長生郡白子町において「白子カレットリサイクル工場」の建設に着工。
- 1985年（昭和60年） 事務所棟、選別設備棟、台貫所等からなる同工場が竣工。操業を開始。
- 同 年 同工場の事業活動に対し日本製壘協会より、ガラスビンリサイクル活動  
のカレットセンターとして認定を受ける。
- 1986年（昭和61年） 同工場の周辺開発行為が進んだため、環境対策工事を実施。
- 1992年（平成4年） 同工場に缶プレス設備を増設。稼働を開始する。
- 1993年（平成5年） 栗飯原益次郎の退任に伴い、栗飯原啓雄が代表取締役就任。
- 1994年（平成6年） 栗飯原益次郎に対し業界発展への貢献が認められ、千葉県環境衛生推進  
協議会より感謝状を授与される。
- 同 年 千葉市一般廃棄物収集・運搬業の許可を受ける。
- 同 年 業務拡張に伴い、本社所在地を現住所に移転。
- 2000年（平成13年） 一般廃棄物処理施設の設置許可を受ける。
- 同 年 千葉県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
- 同 年 千葉市産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
- 2006年（平成18年） 会社法の改正に伴い、株式会社 中屋総業に登記変更。
- 2014年（平成26年） 業務拡張に伴い、千葉県千葉市中央区都町に移転。 以 上